

## 株式会社インタラクティブィ 番組審議委員会議事録

1. 開催日時： 平成 25 年 11 月 11 日（月）10 時 00 分～11 時 30 分

2. 開催場所： トラストシティカンファレンス・丸の内 会議室

3. 委員の出席：

委員総数： 7 名

出席委員数： 6 名

出席委員の氏名：

（敬称略、順不同）大蔵 雄之助、品田 雄吉、諸星 裕、大宅 映子、中村 伊知哉、  
砂川 浩慶

欠席委員の氏名：

（敬称略、順不同）音 好宏

放送事業者側出席者：

株式会社インタラクティブィ

代表取締役社長 西山 彰

ジュピターエンタテインメント株式会社

代表取締役社長 宮田 昌紀、ムービープラス部長 寺嶋 博礼

チャンネル銀河株式会社

代表取締役社長 関本 好則、取締役チャンネル銀河部長 住田 和嘉子

編成担当マネージャー 秋元 美加

事務局 前田 鎮男、森 綾、吉川 美幸

4. 議題

株式会社インタラクティブィで放送する 6 チャンネルの内、

- 1) 「ムービープラス HD」の番組内容、編成内容について
- 2) 「チャンネル銀河」の番組内容、編成内容について

5. 審議内容

- 1) 「ムービープラス HD」の番組内容、編成内容について

ムービープラス HD の編成及びオリジナル番組『この映画が見たい#2 ～石田純一のオールタ

イムベスト〜』について、各委員より以下のような意見・質問がなされた。

- ・ 紹介された作品が本放送ですぐに視聴できる番組編成とはなっているのだろうか。気になった作品を自らCS放送上で探して視聴するとなると手間がかかる。
- ・ 今回の番組で、石田純一さんは洋画における往年の名作を数多く紹介されていたが、石田さんはバラエティ番組のイメージが強かったので、正直意外だった。映画という個人的な体験が共有されることで、名作映画に今まであまり接点がなかった視聴者であっても、石田さんが語るなら見てみようと思う人がいるように感じた。
- ・ もし若い世代に名作映画を見て欲しいという意図があるのであれば、紹介する映画を大学生などに事前に見てもらい、どう感じたかを石田さんと対談する形式のほうが、若者も共感できる番組となると思う。
- ・ 紹介する映画が名作映画に限定されていたため、少し偏りがあるように感じた。例えば近年のマイナーな映画も含めて石田さんならではの視点で紹介されると、より興味深い番組となるように感じた。

#### <事業者回答>

- ・ 映画を見るきっかけを提供することが映画専門チャンネルの使命なのではないかと思い、本番組を開始した。様々な分野の著名人が影響を受けた映画を紹介することで、知らない映画も身近に感じてもらうとともに、視聴者に映画との出会いを提供することを目的としている。
- ・ 各著名人ならではの個性が表れる番組コンセプトであるため、ご紹介する作品にはどうしても偏りが出てしまう。ジャンルの偏りやご紹介の作品と編成が連動していない点については課題としたい。
- ・ オンデマンドサービスへも積極的に取り組んでいる。若い世代などすきま時間に映画を見ることに抵抗がない人も増えていることから、映画専門チャンネルとして新たな戦略を練る必要性を実感している。新たなターゲット層へのアプローチを検討する上で、本日のご意見は大変参考となった。
- ・ 今後の措置としては、インタビュー内容と番組編成に連動をもたせることを検討し、より映画の魅力や面白さを伝えることができるようにする。若い世代への取り組みとしては、オンデマンドの強化に加え、放送に加え試写会などのイベントも実施しアプローチを行う。

#### 2) 「チャンネル銀河」の番組内容、編成内容について

チャンネル銀河の編成及びオリジナル番組『吉永小百合 TV 初ロングインタビュー 映画・夢千代・原爆詩 夢一途に前へ』について、各委員より以下のような意見・質問がなされた。

- ・ 今回のインタビューは関本社長自らインタビューアーになって吉永さんに質問されているが、吉永さんをよく知る関本社長としては、どのような面を引き出したい意図があったのか。
- ・ 40代以下の世代は吉永さんの作品を見る機会が少ないと思うが、本番組では様々な作品が紹介されており、大変勉強になった。90分という時間も気にならなかった。
- ・ 同月の編成と本番組が連動している点も高評価だった。
- ・ もう少し普段見ることができない吉永さんの一面があると、より興味深い番組となっていたと思う。
- ・ 紹介された作品の中で見たことのない作品もあったが、純粋な作品紹介だけでなくインタビューを通じてその作品制作の背景も知ることができたので興味深かった。
- ・ 銀河ならではの番組だと思った。ぜひ、吉永さんのような一流の俳優を取り上げた特集とともに、今回のロングインタビューのような番組を今後も制作してほしい。

#### <事業者回答>

- ・ 吉永さん特集は8月と11月の2ヶ月に渡り実施した。各月で特別編成とロングインタビューを盛り込んでおり、8月は映画4作品とドラマ3作品、11月はデビュー初期の日活映画3作品をお届けする内容となっている。
- ・ 普段の吉永さんが引き出せるよう、冒頭に個人的な思い出話を引き合いに出すなど工夫をした。吉永さんが超一流の俳優である所以も引き出したかったが、小職のインタビューの腕が足りなかった。私生活については吉永さん自身が積極的にお話をされることはなかった。
- ・ 俳優特集は銀河としても力を入れて行っている。編成の充実はもちろん重要視した点だが、吉永さんのロングインタビューと併に視聴者にお届けすることができ、銀河ならではの特集を組むことができたと思う。
- ・ 今後の措置としては、他の俳優特集においても、ロングインタビューのような銀河ならではのオリジナル番組を制作し、お客様により魅力的な放送が届けられるよう取り組む。

以上